

# NEW SOPHIA

福岡歯科学園広報誌

JULY. 2008 Vol.16 No.3 [第59号]

ニュー ソフィア



医科歯科総合病院玄関西側の池で生まれたカモのヒナたち

|                                    |     |
|------------------------------------|-----|
| 医科歯科総合病院、日本医療機能評価機構から認定を受ける        | 2   |
| 福岡歯科大学校歌作詞者から直筆歌詞を寄贈               | 3   |
| 平成19年度事業報告及び決算                     | 4・5 |
| 公開講座のご案内                           | 6   |
| 上海交通大学口腔医学院との相互交流                  | 7   |
| 平成20年度科学研究費補助金獲得状況                 | 8   |
| 福岡歯科大学特待生、大学院奨学生、福岡医療短期大学特別奨学生     | 9   |
| 第11回福岡歯科学園体育祭                      | 10  |
| FROM THE ALUMNI ASSOCIATION 同窓会だより | 11  |
| HI FROM CLINICS クリニックからこんにちは       | 12  |
| FROM PARENTS 保護者からのメッセージ           | 13  |
| 平成21年度入試日程／オープンキャンパス               | 14  |

福岡歯科学園ホームページも  
ご覧ください。

<http://www.fdcnet.ac.jp>

# 福岡歯科大学医科歯科総合病院

## (財)日本医療機能評価機構から認定を受ける

平成20年5月19日付けで、財団法人日本医療機能評価機構の認定病院へ



福岡歯科大学医科歯科総合病院は平成20年5月19日付けで財団法人日本医療機能評価機構の認定病院 (Ver.5.0) になりました。日本医療機能評価機構は、医療機関の第三者評価を行い、医療機関が質の高い医療サービスを提供していくための支援を目的としています。これまでに全国8,892病院のうち2,489の病院が同機構から認定を受けています (平成20年4月21日現在)。

当病院では、平成16年8月に第一回病院機能評価委員会を開催し、それ以降受審に向けて準備を進めてまいりました。受審の際には、書類による事前審査に加え、平成20年1月23日、24日の両日に4人のサーベイヤーによる訪問審査が行われました。その結果、約450の審査項目のうち、中間的な結果報告での改善の指摘は2項目のみで、これも速やかに対応して受審から4か月で認定病院となりました。私立歯科大学の歯科を中心とした病院では全国で2番目の認定となります。

今後も、本院の理念である安全で質の高い、思いやりのある医療を提供するとともに、豊かな人間性を備えた有能な医療人の育成に努め、地域の患者様に満足されるよう、病院機能の維持と向上にさらに邁進いたします。

福岡歯科大学医科歯科総合病院 病院長 石川 博之



医科歯科総合病院外観



同病院受付

### 病院の基本方針

#### 患者様を尊重した医療

温かく思いやりのある医療を提供し、医療倫理の向上をめざします。

#### 高度医療の提供

医学、歯学の専門診療科が協力し、総合的で高度な医療を提供します。

#### 地域医療への貢献

地域の基幹医療施設として、病診連携の充実を図ります。

#### 痛みのわかる医療人の育成

人間性豊かで有能な医療人の育成に努めます。

## 新任教員紹介



すいた さちよ  
水田 祥代 客員教授  
九州大学名誉教授  
日本学術会議会員

### 略歴

九州大学医学部卒。英国リバプール大学付属小児病院留学。帰国後、九州大学大学院医学研究科修了、九州大学第2外科助手、小児外科講師、福岡市立こども病院外科部長、九州大学医学部助教授、教授 (小児外科学講座)、九州大学病院長を経て平成20年4月16日付け本学客員教授に就任。博士 (医学)、大分県出身。

### 抱負

医療人として、また大学人としての今までの経験を生かしながら、そして新しいことを勉強させていただきながら、本学が推進している口腔医学の創設に参加させていただきたいと思います。

# 福岡歯科大学校歌作詞者から 直筆歌詞を寄贈いただきました。



福岡歯科大学校歌作詞者である片岡繁男先生（歯科医師・作家、東京都在住、93歳）から、故郷伊万里市の市民図書館に先生のご業績が展示されている特設コーナーに直筆の日本歯科医師会会歌及び本学校歌が贈呈されることを記念して、本学にも直筆の歌詞を寄贈いただきました。

校歌は開学（昭和48年4月）に合わせて作られましたが、この歌詞には、新しい歯科大学としてユニークで自由な学風を皆が努力して樹立し、全人的医学で新しい世界を拓いてほしいという先生の願いがこめられています。

また、今回この寄贈に際し、伊万里市民図書館、伊万里・有田地区歯科医師会、福岡歯科大学同窓会佐賀県支部の関係者の方々並びに松尾芳樹氏（多久市、歯科医師）にご尽力いただきました。



## 【片岡繁男先生略歴】

大正 4年5月13日 伊万里市に生まれる  
昭和 8年 伊万里商業学校卒業後、九州歯科医学専門学校にすすむ。  
九州帝国大学医学部歯科口腔外科学教室を経て細菌学教室に入り、免疫血清学を専攻。医学博士になる。  
昭和15年 「九州文学」同人となる。  
昭和30年 日本歯科医師会編集委員に就任。その後30年間編集委員を務める。  
昭和38年 日本歯科医師会会歌、作詞。  
昭和47年 本学校歌、作詞。  
昭和54年 長編小説『鷺舞』で第12回九州文学賞を受賞。  
昭和55年 伊万里市制施行25周年記念『交響詩伊万里』を作詩。

その他小説、随筆、詩集、句集の著作や作詩、校歌の作詞など手がけられています。

## 福岡歯科大学校歌作詞者 片岡繁男先生をご存知ですか

同窓会佐賀県支部長 古野 宏（5期）

福岡歯科大学を卒業し26年が過ぎようとしていますが、大学の思い出の一つに、当時小児歯科の登院実習開始前、毎朝控え室で校歌を吉田 穰教授のもと全員で歌っていたことがあります。そのおかげで校歌2番までは今でも歌えます。

このような昔話をなぜするかといいますと、私は現在佐賀県武雄市で開業していますが、最近校歌を作詞された片岡繁男先生が隣の伊万里市出身と知ったからです。10年間ほど伊万里市で歯科医院を開業され、傍らで創作活動に励まれ、市内の小中学校の校歌などを作詞され、現在歌碑が市内3箇所に建ち、伊万里市民図書館に常設展示場が設けられているなど、市民から愛されていることがよくわかりました。昭和29年に作詞活動のため上京後、日本歯科医師会会歌の作詞もされたそうで、現在93歳とご高齢ですが、とてもお元気でいらっしゃるそうです。

6月1日に以前より片岡先生と親交のある多久市在住の松尾芳樹先生のお計らいで、歯の衛生週間にちなみ、「福岡歯科大学校歌」と「日本歯科医師会会歌」の直筆歌詞の贈呈式を行い、同窓会佐賀県支部と伊万里・有田地区歯科医師会とで伊万里市民図書館に贈呈しました。当日、ご子息である片岡秀男先生から繁男先生のお言葉をいただきました。本学へは先に直筆歌詞を贈呈されており、学長の代理で谷口邦久教授がお礼の言葉を述べられました。最後に同窓会員である吉永信秀先生（10期）の奥様に校歌を歌っていただき、とても心に残る式典となりました。



贈呈された直筆歌詞と関係者の皆さん（前列左端が筆者）  
写真提供：佐賀新聞社

## 「ヒポクラテスの木」寄贈によせて

理事長 田中 健藏

皆さん、ヒポクラテスの木（学名「鈴懸けの木（プラタナス）」）をご存知ですか。

この木の名前は、古代ギリシャの医聖ヒポクラテスが、プラタナスの大樹の陰で弟子たちに医学を教えたことに由来しています。

本学にも時計台付近に大学2期生の卒業記念として寄贈（昭和55年3月）、植樹されています。この木は、当時の九州歯科大学学長の池尻茂先生のご好意で一部を譲って頂いたもので、日本赤十字社が昭和52年創立100周年記念にギリシャ赤十字社から頂いた由緒正しい系統の苗木の挿し木であると聞いております。

当初3本寄贈されましたが、うち2本は虫が付き倒木し、残り1本も虫に食われ、いつ倒木するかかわからないため、施設課の林憲久さんに挿し木をお願いしました。様々な工夫と努力のお蔭で、平成17年に3本の挿し木の生育に成功しました。

平成19年12月に福岡大学病院から、平成21年で福岡大学が創立75周年を迎える記念事業の一環として、福岡大学病院新診療棟建設が予定されており、その記念の植樹に本学のヒポクラテスの木を恵っていただきたいとの御依頼があり、理事会等の了承を得て1本を寄贈することとなりました。

「福岡歯科大学三十年史」に2期生の岩本憲明先生が「ヒポクラテスゆかりの鈴懸けの木」と題して由来等を書かれていますので、ご一読ください。「医の倫理」を考える上でとても大切なメッセージだと思います。



時計台北側のヒポクラテスの木と石碑

# 平成19年度事業報告および決算

学校法人福岡歯科学園の事業報告および決算が、5月20日開催の評議員会、理事会で承認されましたので、その概要について説明します。

## 平成19年度事業報告の概要

本学園は、「福岡歯科学園の中期構想」の実現に向けて様々な改革に取り組んでいます。平成19年度の主な事業は次のとおりです。

### 1. 口腔医学の確立

今日の歯医学の進歩、社会医療環境の変化を踏まえ、さらに歯科医療の逼迫状態の改善等のためにも、「歯学(歯科)」から「口腔医学(口腔科)」に変更することが、口腔医学教育・口腔医療に対する社会の理解、医師・歯科医師・看護師・歯科衛生士など医療人の意識向上を図る上で適切であるとの考えに立って、平成19年度は田中理事長、青野常務理事、本田大学長他、役職教職員が私立歯科大学及び福岡県歯科医師会等と意見交換を行うとともに、文部科学省、厚生労働省を訪問し、理解と支援を要請しました。

### 2. 教育の改善・充実等

#### (1) 福岡歯科大学

学生の学力向上のため、教育方法等の改善充実に一層努めるとともに、成績不振の留年学生等への個別指導、さらには父兄との面談の実施など、きめ細かく対応しました。また、実施授業すべてに学生アンケートを実施し、教育効果の検証も行いました。

また、18歳人口の減少のなかで、質の確保には数の確保が必要のため、志願者の確保に向けた新たな選抜方法としてAO入試を実施するとともに、入試成績上位3人に対する学術奨励金支給制度を設けました。

#### (2) 福岡医療短期大学

平成19年3月に「口腔保健衛生学に係る修得単位の審査の基準」が大学評価・学位授与機構により公表され、本学歯科衛生学学科では審査基準に準拠したカリキュラム改編を行い、平成19年9月に専攻科認定申請を行いました。同機構による審査の結果、専攻科歯科衛生学専攻は平成

20年度から全国初の「学士(口腔保健学)」の学位を申請可能な専攻科に認定されました。

### 3. 医療(医科歯科総合病院)

口腔医学の推進及び医科歯科総合病院の充実のため、近接診療科として4月に耳鼻咽喉科、形成外科・口腔顔面美容医療センターを開設しました。

質の高い医療サービスの提供等のため、各種委員会の任務の見直しを行うとともに、診療責任体制の整備等を行いました。また、病院の基本方針や職員の責務等を明記した職員手帳を作成し、医療従事者全員に配布しました。

### 4. 保健・福祉

本学園の介護老人保健施設並びに介護老人福祉施設を含めた介護現場における現状や課題、介護教育の問題点等を踏まえ、介護職員等の処遇改善のため、厚生労働大臣宛に、文書で情報提供や改善要望を行いました。併せて本学園の両施設の介護職員、看護職員等の処遇改善を行いました。

### 5. 大学連携事業

(1) 「西部地区五大学連携懇話会」(九州大学、西南学院大学、中村学園大学、福岡大学、福岡歯科大学)は、教育、研究、地域貢献、職員研修の各ワーキンググループを設置し、具体的協議を行い、平成20年度から①共通講義、②九州市民大学講演会受講による単位取得、③講演会等の情報を各大学ホームページで共有することとなりました。

(2) 平成17年度から実施している地下鉄七隈線沿線の3大学(中村学園大学、福岡大学、福岡歯科大学)の合同シンポジウムを基点に、健康・食育・医療をテーマに教育・研究・地域との交流について連携協力するため、8月に「地下鉄七隈線沿線三大学連絡協議会」を発足させるとともに、目的

達成のため、ワーキンググループを設置し、具体的協議を進めることとしました。

### 6. 社会貢献の拡充

本学園は、歯科医師、歯科衛生士、介護福祉士を養成し、キャンパス内に医科歯科総合病院、介護老人保健施設、介護老人福祉施設を設置しているという特色を生かし、高齢社会における大学の地域貢献のモデルづくり等を目指し、地域との連携や公開講座等を積極的に展開しました。

### 7. 管理運営の改善等

本学園における教育・研究・診療の一層の活性化の取り組みについては、平成18年度に大学が、大学基準協会及び日本高等教育評価機構の二つの認証評価機関から、平成19年度には短期大学が、短期大学基準協会から適格と認定を受けました。また医科歯科総合病院は、平成20年1月に日本医療機能評価機構による訪問調査を受け、3月の「中間的な結果報告」では、総合的に高い評価を得ました。

### 8. 財政の健全化

特定資産等の運用については、近年、基本金組入れに伴う運用可能な資産の増加と確定利付債券から一部変動利付のものを購入する等の対応により、資産運用収入は前年度比9.2%増と高い伸び率となりました。また、帰属収入に対する割合も12.2%となり、法人全体の収入に貢献しました。一方、支出面では、光熱水費や学内ネットワークの保守料ならびに物品等廃棄の際の手数料を受益者負担とし、一層の経費節減を図りました。

### 9. その他

本学園は、父兄後援会・学生共済会・同窓会及び社会福祉法人「学会」との連携等を強化し、学生の就学・教育支援を行っています。

## 平成19年度(第36期)決算の概要

資金収支計算書は、当該会計年度の諸活動に対するすべての資金の収支を明らかにするものです。一方、消費収支計算書は、民間企業の損益計算書に該当するもので、財政の健全化を測定する尺度となります。貸借対照表は、学園の当該会計年度末の資産及び負債・基本金・消費収支差額の状況を表すものです。また、財産目録は、貸借対照表と同じで当該会計年度末の資産及び負債の状況を表すものですが、資産の部を基本財産と運用財産に区分して表示していることと、建物等の減価償却対象資産の表示金額が取得額となっていることです。

平成19年度の資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表及び財産目録の概要は次のとおりです。

### 1. 資金収支計算書

収入の部は、学生生徒等納付金収入等で88億8,586万円の収入合計額になります。これに前年度繰越支払資金17億3,239万円を加えると収入の部合計額は106億1,825万円になりました。

支出の部では、人件費支出34億5,339万円と教育研究経費支出13億7,623万円等で

支出合計額は91億5,395万円になりました。

以上、収入の部合計額から支出合計額を差し引いた次年度繰越支払資金は、14億6,430万円になりました。

### 2. 消費収支計算書

消費収入の部は、学生生徒等納付金等で帰属収入合計額は69億970万円になりました。これから本館・病院改修資金としての第2号基本金及び教育研究基金、奨学基金の第3号基本金等の基本金組入額19億9,321万円を差し引いた消費収入の部合計額は49億1,649万円になりました。

消費支出の部は、人件費、教育研究経費等で57億2,735万円になりました。

以上、消費収入の部合計額から消費支出の部合計額を差し引いた消費収支差額は、8億1,086万円の当年度消費支出超過額になり、これに前年度繰越消費収入超過額46億7,441万円と、除却超過による基本金取崩額2,259万円を合計した翌年度繰越消費収入超過額は38億8,614万円になりました。

### 3. 貸借対照表

資産の部合計は、第3号基本金引当資産の組入れ等により、資産総額は516億1,291

万円になり、前年度に比べ10億7,280万円の増になりました。

負債の部合計は、退職給与引当金等で38億679万円になり、前年度に比べ1億954万円の減になりました。

基本金の部合計は、前年度に比べ19億7,062万円増加し、439億1,997万円になりました。

資産の部合計から負債の部合計及び基本金の部合計を差し引いた消費収支差額の部合計は38億8,615万円になりました。

### 4. 財産目録

資産の部は、土地、建物等の基本財産335億6,381万円と減価償却引当特定資産等の運用財産180億4,910万円の合計で516億1,291万円となりました。

負債の部合計は38億679万円で、資産の部合計額、負債の部合計額とも貸借対照表の合計額と一致しています。

資産の部合計から負債の部合計を差し引きました差引正味財産は478億612万円になり、前年度に比べ11億8,235万円の増になりました。

## ○資金収支決算総括表

| 科目          | 予 算             |          | 決 算             |          | 差 異<br>金 額      |
|-------------|-----------------|----------|-----------------|----------|-----------------|
|             | 金 額             | 構成比%     | 金 額             | 構成比%     |                 |
| 学生生徒等納付金収入  | 3,607,275,000   | 43.33    | 3,607,370,000   | 40.60    | △ 95,000        |
| 手数料収入       | 36,000,000      | 0.43     | 28,835,920      | 0.32     | 7,164,080       |
| 寄附金収入       | 10,000,000      | 0.12     | 27,510,000      | 0.31     | △ 17,510,000    |
| 補助金収入       | 446,620,000     | 5.36     | 505,259,843     | 5.69     | △ 58,639,843    |
| 国庫補助金収入     | 446,420,000     | -        | 504,959,000     | -        | △ 58,539,000    |
| 地方公共団体補助金収入 | 200,000         | -        | 300,843         | -        | △ 100,843       |
| 資産運用収入      | 728,530,000     | 8.75     | 840,554,423     | 9.46     | △ 112,024,423   |
| 資産売却収入      | 0               | 0.00     | 121,459,000     | 1.37     | △ 121,459,000   |
| 事業収入        | 1,445,700,000   | 17.37    | 1,698,450,773   | 19.11    | △ 252,750,773   |
| 雑収入         | 50,309,000      | 0.60     | 182,636,620     | 2.06     | △ 132,327,620   |
| 前受金収入       | 696,050,000     | 8.36     | 772,975,000     | 8.70     | △ 76,925,000    |
| その他の収入      | 2,335,051,000   | 28.05    | 2,335,922,362   | 26.29    | △ 871,362       |
| 資金収入調整勘定    | △ 1,030,455,000 | △ 12.37  | △ 1,235,116,753 | △ 13.91  | 204,661,753     |
| (小計)        | (8,325,080,000) | (100.00) | (8,885,857,188) | (100.00) | (△ 560,777,188) |
| 前年度繰越支払資金   | 1,732,394,000   |          | 1,732,394,939   |          | △ 939           |
| 収入の部合計      | 10,057,474,000  |          | 10,618,252,127  |          | △ 560,778,127   |

## ○消費収支決算総括表

| 科目        | 予 算             |          | 決 算             |          | 差 異<br>金 額      |
|-----------|-----------------|----------|-----------------|----------|-----------------|
|           | 金 額             | 構成比%     | 金 額             | 構成比%     |                 |
| 学生生徒等納付金  | 3,607,275,000   | 56.95    | 3,607,370,000   | 52.21    | △ 95,000        |
| 手数料       | 36,000,000      | 0.57     | 28,835,920      | 0.42     | 7,164,080       |
| 寄附金       | 20,000,000      | 0.32     | 46,587,910      | 0.67     | △ 26,587,910    |
| 補助金       | 446,620,000     | 7.05     | 505,259,843     | 7.31     | △ 58,639,843    |
| 国庫補助金     | 446,420,000     | -        | 504,959,000     | -        | △ 58,539,000    |
| 地方公共団体補助金 | 200,000         | -        | 300,843         | -        | △ 100,843       |
| 資産運用収入    | 728,530,000     | 11.50    | 840,554,423     | 12.16    | △ 112,024,423   |
| 事業収入      | 1,445,700,000   | 22.82    | 1,698,450,773   | 24.58    | △ 252,750,773   |
| 雑収入       | 50,309,000      | 0.79     | 182,636,620     | 2.65     | △ 132,327,620   |
| (帰属収入合計)  | (6,334,434,000) | (100.00) | (6,909,695,489) | (100.00) | (△ 575,261,489) |
| 基本金組入額合計  | △ 1,982,925,000 |          | △ 1,993,206,166 |          | 10,281,166      |
| 消費収入の部合計  | 4,351,509,000   |          | 4,916,489,323   |          | △ 564,980,323   |

## ○貸借対照表

| 科目           | 本年度末             | 前年度末             | 増 減             |
|--------------|------------------|------------------|-----------------|
| 固定資産         | [49,666,350,748] | [48,117,491,483] | [1,548,859,265] |
| 有形固定資産       | (10,395,566,157) | (10,738,777,756) | (△ 343,211,599) |
| 土地           | 2,853,955,052    | 2,853,955,052    | 0               |
| 建物           | 4,394,720,658    | 4,582,713,878    | △ 187,993,220   |
| 構築物          | 240,389,638      | 257,714,348      | △ 17,324,710    |
| 教育研究用機器備品    | 1,431,276,447    | 1,608,268,883    | △ 176,992,436   |
| その他の機器備品     | 27,514,545       | 24,523,582       | 2,990,963       |
| 図書           | 1,446,231,270    | 1,406,685,985    | 39,545,285      |
| 車輛           | 1,478,547        | 4,916,028        | △ 3,437,481     |
| その他の固定資産     | (39,270,784,591) | (37,378,713,727) | (1,892,070,864) |
| 電話加入権        | 1,705,991        | 1,705,991        | 0               |
| 敷金保証金        | 17,850,000       | 17,850,000       | 0               |
| 有価証券         | 1,695,758,600    | 1,724,551,600    | △ 28,793,000    |
| 長期貸付金        | 0                | 216,136          | △ 216,136       |
| 退職給与引当特定資産   | 2,250,500,000    | 2,250,500,000    | 0               |
| 減価償却引当特定資産   | 8,946,000,000    | 8,946,000,000    | 0               |
| 施設設備充実引当特定資産 | 3,100,000,000    | 3,100,000,000    | 0               |
| 第2号基本金引当資産   | 7,000,000,000    | 6,400,000,000    | 600,000,000     |
| 第3号基本金引当資産   | 15,838,970,000   | 14,517,890,000   | 1,321,080,000   |
| 第4号基本金引当資産   | 420,000,000      | 420,000,000      | 0               |
| 流動資産         | [1,946,558,061]  | [2,422,614,312]  | (△ 476,056,251) |
| 現金預金         | 1,464,297,576    | 1,732,394,939    | △ 268,097,363   |
| 未収入金         | 425,261,753      | 628,471,058      | △ 203,209,305   |
| 貯蔵品          | 1,635,536        | 6,187,412        | △ 4,551,876     |
| 短期貸付金        | 216,136          | 987,262          | △ 771,126       |
| 前払金          | 55,147,060       | 54,573,641       | 573,419         |
| 資産の部合計       | 51,612,908,809   | 50,540,105,795   | 1,072,803,014   |

## 1. 重要な会計方針

## (1) 引当金の計上基準

## 退職給与引当金

退職金の支給に備えるため、期末要支給額2,794,504,900円を基にして、私立大学退職金財団に対する掛金の累積額と交付金の累積額との繰入れ調整額を加減した金額の100%を計上している。

## 徴収不能引当金

未収入金等の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能見込額を計上している。

## ○財産目録総括表

| 資産の部         | 金 額            |
|--------------|----------------|
| I. 基本財産      | 33,563,813,974 |
| 固定資産         | 33,563,813,974 |
| (1) 有形固定資産   | 10,303,137,983 |
| (2) その他の固定資産 | 23,260,675,991 |
| II. 運用財産     | 18,049,094,835 |
| 1. 固定資産      | 16,102,536,774 |
| (1) 有形固定資産   | 92,428,174     |
| (2) その他の固定資産 | 16,010,108,600 |
| 2. 流動資産      | 1,946,558,061  |
| 資産の部合計       | 51,612,908,809 |

(単位:円)

| 科目        | 予 算             |          | 決 算             |          | 差 異<br>金 額      |
|-----------|-----------------|----------|-----------------|----------|-----------------|
|           | 金 額             | 構成比%     | 金 額             | 構成比%     |                 |
| 人件費支出     | 3,643,054,000   | 37.95    | 3,453,388,528   | 37.73    | 189,665,472     |
| 教育研究経費支出  | 1,426,790,000   | 14.86    | 1,376,225,042   | 15.03    | 50,564,958      |
| 管理経費支出    | 239,982,000     | 2.50     | 218,215,092     | 2.38     | 21,766,908      |
| 施設関係支出    | 36,090,000      | 0.38     | 37,046,000      | 0.40     | △ 956,000       |
| 設備関係支出    | 128,190,000     | 1.34     | 146,439,709     | 1.60     | △ 18,249,709    |
| 資産運用支出    | 3,621,080,000   | 37.73    | 3,713,746,000   | 40.57    | △ 92,666,000    |
| その他の支出    | 598,221,000     | 6.23     | 607,144,020     | 6.63     | △ 8,923,020     |
| [予備費]     | (58,732,000)    |          |                 |          | 241,268,000     |
| 資金支出調整勘定  | △ 336,100,000   | △ 3.50   | △ 398,249,840   | △ 4.34   | 62,149,840      |
| (小計)      | (9,598,575,000) | (100.00) | (9,153,954,551) | (100.00) | (444,620,449)   |
| 次年度繰越支払資金 | 458,899,000     |          | 1,464,297,576   |          | △ 1,005,398,576 |
| 支出の部合計    | 10,057,474,000  |          | 10,618,252,127  |          | △ 560,778,127   |

(単位:円)

| 科目           | 予 算             |          | 決 算             |          | 差 異<br>金 額    |
|--------------|-----------------|----------|-----------------|----------|---------------|
|              | 金 額             | 構成比%     | 金 額             | 構成比%     |               |
| 人件費          | 3,651,835,000   | 60.07    | 3,582,580,498   | 62.55    | 69,254,502    |
| 教育研究経費       | 1,915,858,000   | 31.51    | 1,861,817,454   | 32.51    | 54,040,546    |
| 管理経費         | 270,765,000     | 4.45     | 260,428,400     | 4.55     | 10,336,600    |
| 資産処分差額       | 0               | 0.00     | 22,521,374      | 0.39     | △ 22,521,374  |
| [予備費]        | (58,732,000)    |          |                 |          | 241,268,000   |
| (消費支出の部合計)   | (6,079,726,000) | (100.00) | (5,727,347,726) | (100.00) | (352,378,274) |
| 当年度消費支出超過額   | 1,728,217,000   |          | 810,858,403     |          |               |
| 前年度繰越消費収入超過額 | 4,674,411,000   |          | 4,674,411,401   |          |               |
| 基本金取崩額       | 0               |          | 22,589,957      |          |               |
| 翌年度繰越消費収入超過額 | 2,946,194,000   |          | 3,886,142,955   |          |               |

(単位:円)

| 科目      | 本年度末            | 前年度末            | 増 減             |
|---------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 固定負債    | [2,454,600,132] | [2,325,408,162] | [129,191,970]   |
| 退職給与引当金 | 2,452,069,044   | 2,322,877,074   | 129,191,970     |
| 長期預り金   | 2,531,088       | 2,531,088       | 0               |
| 流動負債    | [1,352,191,818] | [1,590,928,537] | (△ 238,736,719) |
| 未払金     | 369,613,049     | 559,670,716     | △ 190,057,667   |
| 前受金     | 772,975,000     | 809,855,000     | △ 36,880,000    |
| 預り金     | 209,603,769     | 221,402,821     | △ 11,799,052    |
| 負債の部合計  | 3,806,791,950   | 3,916,336,699   | △ 109,544,749   |

## 基本金の部

| 科目      | 本年度末           | 前年度末           | 増 減           |
|---------|----------------|----------------|---------------|
| 第1号基本金  | 20,661,003,904 | 20,611,467,695 | 49,536,209    |
| 第2号基本金  | 7,000,000,000  | 6,400,000,000  | 600,000,000   |
| 第3号基本金  | 15,838,970,000 | 14,517,890,000 | 1,321,080,000 |
| 第4号基本金  | 420,000,000    | 420,000,000    | 0             |
| 基本金の部合計 | 43,919,973,904 | 41,949,357,695 | 1,970,616,209 |

## 消費収支差額の部

| 科目           | 本年度末            | 前年度末            | 増 減             |
|--------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 翌年度繰越消費収入超過額 | [3,886,142,955] | [4,674,411,401] | (△ 788,268,446) |
| 消費収支差額の部合計   | 3,886,142,955   | 4,674,411,401   | △ 788,268,446   |

## 消費収支差額の部

| 科目                         | 本年度末           | 前年度末           | 増 減           |
|----------------------------|----------------|----------------|---------------|
| 負債の部、基本金の部<br>及び消費収支差額の部合計 | 51,612,908,809 | 50,540,105,795 | 1,072,803,014 |

2. 減価償却額の累計額の合計額 10,382,772,656円

3. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 22,912,730円

4. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1) 関連当事者との取引  
記載すべき関連当事者との取引はない。

(単位:円)

| 負債の部             | 金 額            |
|------------------|----------------|
| I. 固定負債          | 2,454,600,132  |
| 退職給与引当金          | 2,452,069,044  |
| 長期預り金            | 2,531,088      |
| II. 流動負債         | 1,352,191,818  |
| 未払金              | 369,613,049    |
| 前受金              | 772,975,000    |
| 預り金              | 209,603,769    |
| 負債の部合計           | 3,806,791,950  |
| 差引正味財産           | 47,806,116,859 |
| 負債の部合計及び差引正味財産合計 | 51,612,908,809 |

## 公開講座のご案内

### ●福岡歯科大学公開講座●

#### 笑顔は口元から ～アンチエイジングのための美容歯科～

日 時：平成20年9月20日(土) 13:00～16:00  
場 所：福岡県歯科医師会館(福岡市中央区大名)

- 1.「口元の若返り」  
講師：清水博史(福岡歯科大学医科歯科総合病院・補綴(入れ歯)科・准教授)
- 2.「今からはじめる歯ならび治療」  
講師：玉置 幸雄(同病院・矯正歯科・講師)
- 3.「歯のエステーホワイトニングのおはなし」  
講師：片山 知子(同病院・口腔顔面美容医療センター・助教)

○定員100名、受講料・参加料は無料

#### ○公開講座への申込方法

参加希望の公開講座名、氏名・年齢・性別・住所・電話番号を明記の上、電話、FAX、E-mailまたははがきで下記宛にお申込ください。  
受講票をお送りします。

#### ○申込先 福岡歯科大学 企画課

〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 電話:092-801-0411(代表)/FAX:092-801-3678 E-mail:kikaku@college.fdcnet.ac.jp

### ●地下鉄七隈線沿線3大学合同シンポジウム●

#### 生涯現役！ ハッピーライフの食と健康

日 時：平成20年10月26日(日) 13:00～16:00  
場 所：福岡歯科大学

地下鉄七隈線沿線の中村学園大学、福岡大学、本学の3大学で行う合同シンポジウムも今回で4回目となりました。今回も、「食と健康」について各大学がその特質を活かし、専門分野から分かりやすく話します。第1部は3人の講師の講演です。第2部の参加者と講師によるパネルディスカッションは、毎年大いに盛り上がります。お楽しみに！

○受講料・参加料は無料

### ●福岡医療短期大学公開講座●

#### 要介護高齢者の生活支援 —お口の健康を維持するために—

日 時：平成20年9月28日(日) 13:00～16:20  
場 所：福岡医療短期大学307教室(福岡市早良区田村)

- I.『口腔・嚥下機能回復と廃用予防のための口腔ケア』を中心に
- 講演-1 機能的口腔ケアとは(福岡医療短期大学 准教授 廣瀬武尚)
  - 講演-2 介護が必要となる維持期では  
(リハモール福岡 施設支援課 介護福祉士 樋崎崇雄)
  - 講演-3 急性期(入院時)から維持期にかけての口腔ケア  
(福岡リハビリテーション病院 歯科衛生士 主任 柴田祐子)
  - 講演-4 お口の健康は急性期(入院時)から  
(福岡リハビリテーション病院 障害者歯科部長 平塚正雄)

#### II.総合討論

○受講料・参加料は無料(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

#### ○申込方法

氏名・参加人数・住所・連絡先を明記の上、FAXまたはE-mailで下記宛にお申込ください。

#### ○申込先 福岡医療短期大学 公開講座委員会

〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1  
電話:092-801-0923/FAX:092-801-4473

E-mail:koukai08@college.fdcnet.ac.jp 件名に「公開講座申込」とお書きください。

### ●第4回健康まるごと福岡歯科学園●

日 時：平成20年10月25日(土)、26日(日)  
場 所：福岡歯科大学

福岡歯科学園では、医療・保健・福祉のみではなく、より広い分野での地域貢献を果たすため、「健康まるごと福岡歯科学園」を開催します。

- 「田の歯科祭」
- 「からだの科学展」
- 「医科・歯科無料相談」
- 「介護無料相談・介護施設見学」
- 短大企画
- 3大学合同シンポジウム

など盛りだくさんの内容で、皆さんのご来場をお待ちしています。

#### ○問合せ先

福岡歯科大学 企画課  
〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1  
電話:092-801-0411(代表)/FAX:092-801-3678  
E-mail:kikaku@college.fdcnet.ac.jp



昨年度の「からだの科学展」

## 歯の無料相談

歯の衛生週間にちなみ、「歯の無料相談」(責任者:松浦正朗教授・口腔インプラント学)が6月8日(日)に、福岡市早良区の西新エルモールプラザ7階で開催されました。会場では、福岡歯科大学医科歯科総合病院的な歯科医師や歯科衛生士が、来場者の歯や口腔に関する悩みや質問に答えていました。今回は特に幼児が多く、子どもの歯に関する質問が多く聞かれました。来場者数は134人でした。



会場受付

## 短大特別公開講座

6月8日(日)、福岡医療短期大学307教室において、特別公開講座「超高齢社会を迎えた介護福祉の展望」が開催され、学内外から100人が参加しました。短大保健福祉学科大倉義文教授による講演「地域社会を支える介護福祉教育の展開」、社団法人福岡県介護福祉士会、因利恵会長による講演「介護福祉における最新動向と将来展望—中央行政の動向とあるべき方向性—」があり、これからの介護福祉について考えさせられる公開講座となりました。



因会長の講演

## 上海交通大学口腔医学院と相互交流

診断・全身管理学講座画像診断学分野 教授 湯浅 賢治

今年で第3回目となる姉妹校の上海交通大学口腔医学院および同大学附属の第九人民病院の訪問を、平成20年3月16日から23日にかけて行いました。参加者は5年生9人(川中笑美、泉 利絵子、岩屋勝美、岡 沙代子、秋山曜子、安野喜美恵、北林克之、村上弘、篠崎陽介)と教員2人(泉 利雄准教授と筆者)で、同大学および病院での診療・教育・研究の視察および教員や学生との交流を行いました。第九人民病院では、ほぼすべての歯科

関連の診療科および病棟、手術場の見学を行い、患者数の多さ(1日の外来患者数約4,000人、口腔外科関連の病床数250床)や診療参加型臨床実習の充実に本学学生は驚いていました。教育においても全身の中の口腔医学の考えのもと、腹部触診、心肺蘇生法等の実習が充実しており、本学の教育の在り方に非常に参考にすべきものがありました。また、英語教育の充実に力を入れており、native speakerのようになることを目的としているとのことであり、国際化を念頭においた教育システムでありました。本訪問で本学学生は国際社会でのコミュニケーションの手段である英語の重要性について痛感していました。教員2名は、同大学の教員と交流をはかるとともに、研究発表を行い、研究および診療に関する情報交換を行いました。

また、4月13日から20日にかけて、上海交通大学口腔医学院から学生5人および教員3人

(鄭 家偉教授、張 修銀教授、陳 曦講師)が本学を訪れました。訪問学生は本学医科歯科総合病院の診療科の見学および講義を受けました。また、鄭教授と張教授は豊富な症例を背景とした最新の診療についての講演を行いました。先に上海を訪問した本学学生と上海交通大学の学生との交流もさらに親密となり、離日の際は涙の別れとなってしまいました。



学内見学(上海交通大学口腔医学院)



送別会(福岡歯科大学)

## 東釜山大学学生が短大を訪問

6月6日、姉妹校である東釜山大学歯衛生科から教員と学生合わせて40人が福岡医療短期大学を訪れ、学内見学の後、歯科衛生学科2学年が催した交流会に参加しました。両校は毎年相互に訪問し教員、学生間の交流を深めています。交流会ではそれぞれの大学の紹介や歌を披露するなど、慣れない日本語、韓国語や英語でコミュニケーションをとりながらも、楽しい一時を過ごしました。



両校の学生が一緒に記念撮影!

## 海外研修派遣

【福岡歯科大学】

| 所属分野   | 職名             | 氏名                      | 用務  | 派遣先                         | 派遣期間                         |
|--------|----------------|-------------------------|---|-----------------------------|------------------------------|
| 障害者歯科学 | 教授<br>助教<br>助教 | 小島 寛<br>久保田 智彦<br>加藤 喜久 | 韓国障害者歯科学会2008にて発表   | ソウル(大韓民国)                   | 自:H.20. 4.25<br>至:H.20. 4.27 |
| 内科学    | 助教             | 前田 大登                   | 第11回アジア太平洋腎臓学会にて発表  | クアラルンプール<br>(マレーシア)         | 自:H.20. 5. 4<br>至:H.20. 5.10 |
| 冠橋義歯学  | 教授             | 佐藤 博信                   | 1.第17回国際インプラント学シンポジウムでの招待講演<br>2.オステオインテグレーション会議(トロント)参加  | ボストン(アメリカ)<br>トロント(カナダ)     | 自:H.20. 5. 8<br>至:H.20. 5.18 |
| 生体工学   | 准教授<br>助教      | 福島 忠男<br>川口 稔           | 1.第8回国際バイオマテリアル学会にて発表<br>2.ナイメーヘン大学(Radboud University Nijmegen)医学部生体材料研究室Jansen教授とDNA/キトサン複合体に関する研究打ち合わせ | アムステルダム<br>ナイメーヘン<br>(オランダ) | 自:H.20. 5.27<br>至:H.20. 6. 2 |
| 口腔健康科学 | 教授             | 埴岡 隆                    | 86th General Session of the IADRにて発表  | トロント<br>(カナダ)               | 自:H.20. 7. 3<br>至:H.20. 7. 7 |

【福岡医療短期大学】

| 所属     | 職名 | 氏名    | 用務  | 派遣先       | 派遣期間                         |
|--------|----|-------|---|-----------|------------------------------|
| 保健福祉学科 | 教授 | 高瀬 文広 | 第12回映像英語教育学会(STEM)に学会の副会長及び韓国学会のアドバイザー・エディターとして参加(招聘) | ソウル(大韓民国) | 自:H.20. 4.18<br>至:H.20. 4.20 |

## 《平成20年度 福岡歯科大学・福岡医療短期大学 科学研究費補助金決定一覧表》

| 研究種目          | 所属講座      | 職名     | 氏名     | 決定額<br>(直接経費+間接経費)<br>(単位:千円) | 研究課題  |
|---------------|-----------|--------|--------|-------------------------------|---|
| 基礎研究(B)       | 口腔・顎顔面外科学 | 教授     | 大関 悟   | 3,380                         | 口腔扁平上皮癌に対する個別化制限増殖型遺伝子治療法を目指した基礎的研究とその応用            |
|               | 歯科医療工学    | 教授     | 松家 茂樹  | 4,680                         | 破骨細胞吸収型骨置換材の創製                                      |
|               | 咬合修復学     | 准教授    | 松浦 尚志  | 3,770                         | インプラント予知診断のための顎骨骨膜分析法の開発                            |
|               | 歯科医療工学    | 准教授    | 福島 忠男  | 6,500                         | DNA/ポリカチオン複合体を素材にしたインジェクション型スキャフォールド材の開発            |
|               | 細胞分子生物学   | 教授     | 岡部 幸司  | 12,870                        | 破骨細胞分化を制御するCa <sup>2+</sup> オシレーション形成と転写因子NFATの調節機構 |
|               | 咬合修復学     | 教授     | 佐藤 博信  | 9,620                         | コラーゲン生化学的性状に起因する歯槽骨の表現型とその加齢変化パターンとの同定              |
| 基礎研究(C)       | 成長発達歯学    | 教授     | 石川 博之  | 9,230                         | bFGFによる口蓋裂術後癒着形成の制御に関する基礎的研究                        |
|               | 細胞分子生物学   | 教授     | 北村 憲司  | 1,430                         | 平滑筋細胞におけるT型カルシウムチャネルの生理学的意義                         |
|               | 細胞分子生物学   | 講師     | 岡本 富士雄 | 1,300                         | Ca <sup>2+</sup> 透過性陽イオンチャンネル(TRP)による破骨細胞の分化制御機序の解明 |
|               | 診断・全身管理学  | 助教     | 香川 豊宏  | 1,560                         | インタラクティブアニメーションを使用した自己開発型教育システムの開発                  |
|               | 総合歯科学     | 教授     | 廣藤 卓雄  | 910                           | 高齢者・障害者における口腔内細菌混合感染と全身性疾患に関する研究                    |
|               | 細胞分子生物学   | 講師     | 鍛冶屋 浩  | 1,690                         | 破骨細胞の酸分泌におけるCICN7とV-ATPaseの分子機能カップリングの解明            |
|               | 診断・全身管理学  | 助教     | 三輪 邦弘  | 1,430                         | 頸部腫脹リンパ節を用いた超音波組織性状定量診断システムの開発                      |
|               | 口腔治療学     | 教授     | 阿南 壽   | 1,690                         | 再生促進因子を応用した根尖部歯周組織再生療法の開発                           |
|               | 咬合修復学     | 教授     | 高橋 裕   | 1,820                         | レジン床義歯の補強に用いるガラス繊維強化型コンポジット(FRC)の開発と応用              |
|               | 咬合修復学     | 准教授    | 清水 博史  | 2,210                         | 力の緩衝能をもつ人工歯を用いた新しい義歯システムの開発                         |
|               | 咬合修復学     | 准教授    | 城戸 寛史  | 1,170                         | 透明プラスチックインプラントを用いた骨結合達成スピードの動的評価                    |
|               | 生体構造学     | 准教授    | 敦賀 英知  | 1,300                         | 歯根膜の伸張刺激にตอบสนองするfibulinがオキシタラン線維の制御に果たす役割         |
|               | 医療人間学     | 教授     | 壬生 正博  | 1,690                         | 中世異界夢文学と黙示文学との比較研究を基礎とした異界図像集作成                     |
|               | 細胞分子生物学   | 准教授    | 日高 真純  | 1,690                         | 新規アポトーシス誘導因子の単離とその分子機能解析                            |
|               | 機能生物学     | 教授     | 早川 浩   | 2,080                         | RNAの酸化損傷の抑制と酸化RNA排除機構                               |
|               | 口腔治療学     | 准教授    | 泉 利雄   | 1,820                         | 生体活性ガラス添加試作リン酸カルシウムセメントの歯内治療への応用                    |
|               | 総合歯科学     | 准教授    | 米田 雅裕  | 1,430                         | 根尖病変における細菌凝集活性の意義                                   |
|               | 口腔・顎顔面外科学 | 教授     | 池邊 哲郎  | 1,820                         | 生活環境ストレスによる舌粘膜の分子的損傷の診断法についての基礎的研究                  |
|               | 総合歯科学     | 講師     | 内藤 徹   | 1,690                         | 歯周メインテナンスは全身のQOLの維持につながるか?                          |
|               | 歯科衛生学科    | 准教授    | ※井上 勇介 | 1,560                         | DNA/キトサン/脂質複合体を用いたマルチレイヤーGTR,GBRメンブランの開発            |
| 歯科衛生学科        | 教授        | ※日高 三郎 | 650    | 毎日の食事と食物成分が歯石形成を促進する可能性       |   |
| 萌芽研究          | 口腔保健学     | 准教授    | 町田 弘幸  | 900                           | 固有受容性感覚器神経筋促進法による高齢者の顎運動機能向上に関する研究                  |
|               | 口腔保健学     | 教授     | 埴岡 隆   | 900                           | 口腔の兆候の認知は生活習慣病予防のための行動変容とその維持に役立つか?                 |
|               | 歯科医療工学    | 准教授    | 福島 忠男  | 600                           | DNA/人工タンパク質複合体の透明フィルム化と軟組織再生用材料への応用                 |
|               | 歯科衛生学科    | 教授     | ※緒方 稔泰 | 900                           | 安全性の高い歯石を除去する義歯洗浄剤の作製                               |
| 若手研究(B)       | 咬合修復学     | 講師     | 都築 尊   | 910                           | 咬合性外傷歯の非外科的修復方法の開発                                  |
|               | 診断・全身管理学  | 助教     | 野上 堅太郎 | 1,430                         | 歯科麻酔学専用のインタラクティブ自己学習システムの開発                         |
|               | 咬合修復学     | 助教     | 大郷 友規  | 1,170                         | インプラント術前診断法開発における顎骨性状の解析                            |
|               | 口腔・顎顔面外科学 | 助教     | 橋本 憲一郎 | 780                           | SCCA発現亢進/抑制による口腔扁平上皮癌細胞の形質変化の解析                     |
|               | 総合歯科学     | 助教     | 谷口 奈央  | 1,430                         | 口臭に関連する口腔細菌叢の多様性解析                                  |
|               | 口腔保健学     | 助教     | 晴佐久 悟  | 1,170                         | 舌症状を重視した生活習慣改善指導の効果                                 |
|               | 口腔・顎顔面外科学 | 助教     | 片山 知子  | 2,080                         | 骨吸収因子RANKLと骨形成因子BMPの発現に及ぼす歯周病原性細菌の関与の解明             |
|               | 口腔治療学     | 助教     | 榮田 太郎  | 1,300                         | 生体活性ガラスを用いたラット歯根端切除部の治癒機転に関する病理組織学的研究               |
|               | 口腔治療学     | 助教     | 福島 晶絵  | 2,470                         | SOCsファミリー新規相互作用因子の検索と機能解析                           |
|               | 咬合修復学     | 助教     | 津江 文武  | 1,690                         | FRCフレームワークを利用した、直接法による栓子作製方法の開発                     |
|               | 口腔・顎顔面外科学 | 助教     | 福沢 秀昭  | 2,340                         | 口腔扁平上皮癌および口腔粘膜前癌病変におけるS100A7タンパクの発現解析               |
|               | 成長発達歯学    | 助教     | 井上 庸子  | 1,430                         | "矯正力による痛み"に関与する神経の支配領域に関する研究                        |
|               | 成長発達歯学    | 講師     | 玉置 幸雄  | 1,950                         | 複数の顔をノルムとした新しい矯正診断システムの構築                           |
|               | 矯正歯科      | 医員     | 秦 雄一郎  | 1,560                         | サイトカインによる口蓋骨欠損ラットに対する骨移植後の生着効果                      |
| 若手研究(スタートアップ) | 口腔保健学     | 助教     | 山本 未陶  | 1,300                         | 学齢期のブラッシングの自己管理スキル向上は成人の生活習慣病予防につながる                |
|               | 咬合修復学     | 助教     | 片瀨 三千綱 | 1,755                         | ビスホスホネート服用患者へのインプラント手術で発症する顎骨特異的壊死のメカニズム            |
|               |           | 合計     | 47件    | 109,055                       |   |

注) 氏名欄の※印は、福岡医療短期大学所属教員を示す。

## SEASONAL TOPICS

## 福岡歯科大学の協力で佐賀県歯科医師会が障害者歯科保健地域協力医を養成

佐賀県歯科医師会 地域福祉委員会  
委員長 西村 賢二

佐賀県歯科医師会では平成16年度より、障害者歯科保健推進の核となる地域の協力歯科医師を養成する「佐賀県障害者歯科保健地域協力医研修事業」を開始しました。協力医は障害者対応の一次医療機関として実践し、高次医療機関とのネットワークを構築します。18年度までの3年間で69医療機関の協力医を養成しました。研修内容は福岡歯科大学の障害者歯科学分野の協力のもとに、障害者に関する社会福祉への理解、障害者そのものに対する医学的知識、全身管理といった広範な基礎知識の習得のための講義や実習と見学でした。

平成19年度以降は医療と福祉のネットワークづくりをさらに強化することを目的に「チャレンジド 歯科保健医療ネットワーク推進事業」を展開し

ています。ここでも同大学の障害者歯科学分野の協力を得て、障害児・者の歯科や口の中についてどのように考えているかを把握するためにあらゆる規模の福祉施設の通所者や入所者のアンケート調査を行いました。この結果については、日本障害者歯科学会や韓国障害者歯科学会(平成20年4月)において発表しました。

県歯科医師会において、大学と協力して事業を行えたことは学術団体として貴重な経験をさせていただき、結果については学会報告にまでこぎつけることができ

学存在を改めて大きく感じることとなりました。

今後とも、佐賀県歯科医師会では福岡歯科大学の障害者歯科学分野の協力を得て、地域で暮らす障害者の歯科保健をより実効のあるものとする取り組みを展開していきたいと考えています。



セミナー参加の皆さん(平成17年度)

## 福岡歯科大学特待生

福岡歯科大学の平成20年度特待生に次の7人が選ばれました。特待生は、学業成績が特に優秀であり、品行方正、かつ健康であることを加味決定され、その年度の授業料の半額が免除されます。



第2学年 二反田 詩織 第3学年 榎坂 佳子 第3学年 高野 愛子 第4学年 橋本 明枝



第5学年 笹倉 彩 第5学年 村上 千尋 第6学年 川中 笑美

## 福岡歯科大学AO入学試験学術奨励金支給者

平成20年度AO入学試験における成績が特に優秀であったので、下記3人へ学術奨励金(年額120万円)を支給することとし、表彰しました。

◇第1学年



内川 一美 熊谷 徹弥 森 はなえ

## 平成20年度大学院特別奨学生等決定

◇福岡歯科大学大学院特別奨学生(修学資金として毎月16万円を支給)として次の10人(写真下)を決定しました。

第4学年 植木 猛士(矯正歯科学) 第2学年 別府 健介(口腔インプラント学)  
 第4学年 吉田 智治(矯正歯科学) 第2学年 吉田 兼義(有床義歯学)  
 第3学年 長谷川 綾(矯正歯科学) 第1学年 今泉 友里(障害者歯科学)  
 第3学年 松本 典祥(歯科保存学) 第1学年 大城希美子(歯周病学)  
 第2学年 畑 実(障害者歯科学) 第1学年 川口 智弘(有床義歯学)



◇福岡歯科大学大学院奨学生(奨学金として授業料相当額70万円を支給)として次の10人を決定しました。

第2学年 岩元 知之(総合歯科学) 第2学年 福岡 宏士(冠橋義歯学)  
 第2学年 来海慶一郎(口腔外科学) 第2学年 山口 和勇(生化学)  
 第2学年 佐々木美智子(冠橋義歯学) 第1学年 天野 郁子(障害者歯科学)  
 第2学年 中島 一記(矯正歯科学) 第1学年 岡本 愛彦(口腔外科学)  
 第2学年 中山 修二(口腔外科学) 第1学年 根本 哲臣(有床義歯学)

## 福岡医療短期大学特別奨学生

福岡医療短期大学の平成20年度特別奨学生に次の9人が選ばれました。特別奨学生は、その年度の授業料の半額が免除されます。

◇歯科衛生学科 第2学年



吉永 綾子 高島 朋子 江上 茉侖

◇歯科衛生学科 第3学年



松本 亜希子 力武 紗由美 前田 豊美

◇保健福祉学科 第2学年



河野 章人 雪野 綾子 山崎 友里恵

## 福岡歯科大学大学院RA、TA決定

福岡歯科大学大学院の平成20年度リサーチアシスタント(RA)及びティーチングアシスタント(TA)に次の方の採用が決定され、7月1日、辞令交付式が行われました。(手当として年額27万円が支給されます。)

◇リサーチアシスタント(RA)

第4学年 植木 猛士(矯正歯科学) 第3学年 長谷川 綾(矯正歯科学)  
 第4学年 吉田 智治(矯正歯科学) 第3学年 松本 典祥(歯科保存学)  
 第3学年 井上知加予(矯正歯科学) 第3学年 向坊 友宏(矯正歯科学)  
 第3学年 岩澤 佳奈(矯正歯科学)

◇ティーチングアシスタント(TA)

第2学年 岩元 知之(総合歯科学) 第2学年 吉田 兼義(有床義歯学)  
 第2学年 来海慶一郎(口腔外科学) 第1学年 天野 郁子(障害者歯科学)  
 第2学年 佐々木美智子(冠橋義歯学) 第1学年 今泉 友里(障害者歯科学)  
 第2学年 中島 一記(矯正歯科学) 第1学年 大城希美子(歯周病学)  
 第2学年 中山 修二(口腔外科学) 第1学年 岡本 愛彦(口腔外科学)  
 第2学年 畑 実(障害者歯科学) 第1学年 川口 智弘(有床義歯学)  
 第2学年 福岡 宏士(冠橋義歯学) 第1学年 中富 佑香(矯正歯科学)  
 第2学年 別府 健介(口腔インプラント学) 第1学年 根本 哲臣(有床義歯学)  
 第2学年 山口 和勇(生化学) 第1学年 野田 雄也(障害者歯科学)



辞令交付式

## 第11回福岡歯科学園体育祭

5月23日、福岡歯科大学・福岡医療短期大学の共同で学園体育祭が開催されました。晴天に恵まれ、グラウンドでは、クラブ対抗リレー、サッカー、体育館では玉入れ・バスケットボール・バレーボールが行われ、各競技とも熱戦が繰り広げられました。

### 【競技別優勝チーム】

| 種目       | 区分               | 優勝                            | 準優勝           |
|----------|------------------|-------------------------------|---------------|
| バレーボール   | 男子               | 大学5学年                         | 大学6学年         |
|          | 女子               | 短大(歯科衛生学科)3学年                 | 短大(歯科衛生学科)1学年 |
| バスケットボール | 男子               | 大学6学年                         | 大学1学年         |
|          | 女子               | 短大(歯科衛生学科)2学年                 | 大学3学年         |
| サッカー     | 男子               | 大学1学年                         | 大学2学年         |
| クラブ対抗リレー | 男子               | ラグビー部                         | サッカー部         |
|          | 女子               | バスケットボール部                     | バレーボール部       |
| 玉入れ      | 優勝:短大(歯科衛生学科)1学年 | 準優勝:短大(歯科衛生学科)2学年<br>3位:大学1学年 |               |



クラブ対抗リレー



サッカー



表彰式



玉入れ

## 第40回歯学体夏期部門

第40回全日本歯科学学生総合体育大会夏期部門(事務主管 岩手医科大学歯学部)が、7月28日から8月11日にかけて岩手県を中心に各地で開催されます。各競技と会場は下表のとおりです。

| 部門名      | 日程                | 会場  |
|----------|-------------------|---|
| 硬式野球     | 8月1日(金)～8月8日(金)   | 岩手県営野球場、花巻球場                                |
| 硬式庭球     | 8月1日(金)～8月5日(火)   | 千葉県長生郡白子町テニスコート                             |
| サッカー     | 8月1日(金)～8月6日(水)   | 岩手県営運動公園、盛岡南公園球技場<br>岩手医科大学矢巾キャンパス・緑ヶ丘グラウンド |
| ゴルフ      | 7月28日(月)～7月30日(水) | 埼玉県狭山ゴルフクラブ                                 |
| バドミントン   | 8月4日(月)～8月8日(金)   | 岩手県営体育館、盛岡体育館                               |
| バレーボール   | 8月6日(水)～8月11日(月)  | 盛岡市アイスアリーナ、盛岡体育館                            |
| バスケットボール | 8月1日(金)～8月6日(水)   | 仙台市宮城野体育館、仙台市青葉体育館                          |
| ボウリング    | 8月3日(日)～8月6日(水)   | 札幌市サンコーボウル                                  |
| 柔道       | 8月1日(金)～8月3日(日)   | 岩手県営武道館                                     |
| 剣道       | 8月8日(金)～8月10日(日)  | 岩手県営武道館                                     |
| 弓道       | 8月4日(月)～8月7日(木)   | 岩手県営武道館                                     |
| 空手道      | 8月2日(土)～8月3日(日)   | 奥羽大学体育館                                     |
| 水泳       | 8月8日(金)～8月10日(日)  | 盛岡市立総合プール                                   |
| ヨット      | 8月1日(金)～8月3日(日)   | 愛知県蒲郡市海陽ヨットハーバー                             |

## 共用試験(OSCE、CBT)実施

登院前の5学年99人は平成20年度共用試験として6月29日にOSCE(技能・態度を客観的に評価する臨床能力試験)並びに7月4日にCBT(知識・思考力〈問題解決能力〉を問う多肢選択式試験でコンピュータを使った試験)を受験しました。この共用試験は、診療参加型臨床実習に参加する学生に必要とされる基本的知識と問題解決能力、基本的技能と基本的態度を評価し、患者さんにとって安全であり、学生にとって学びの多い臨床実習を行うために実施するものです。

## サンシャインシティへ車椅子が贈呈される

西日本SHDパートナーズ倶楽部から、車椅子20台が介護老人保健施設サンシャインシティへ寄贈されることとなり、6月11日に贈呈式が行われました。この団体は、西日本高速道路サービス・ホールディングス(株)とサービスエリア等を運営するテナントで構成する任意団体で、社会貢献活動を行っています。今回は社会福祉活動を行う非営利団体を支援するため、福岡県と佐賀県、合わせて4福祉施設への寄附を申し出られ、福岡県介護老人保健施設協会の推薦により、サンシャインシティへの贈呈が決定しました。



車椅子贈呈式

## 第6回サンシャインシティ運動会

6月22日、介護老人保健施設サンシャインシティ1階デイケア・リハビリフロアで第6回運動会が開催されました。この運動会は競技を通じて入所者とその家族が交流を深めることができるよう、またご家族へ施設看護・介護について理解を深めてもらう目的で毎年行っています。今年度は障害物競走、綱引きや応援合戦などの競技が行われ、入所者やその家族、ボランティアの方や職員から大きな歓声が上がっていました。



玉入れ



つな引き

# From The Alumni Association

同窓会だより

## ■ 福岡歯科大学長崎県同窓会（歯ってん会）総会



講演中の本田学長

去る4月12日(土)、雲仙市において福岡歯科大学長崎県同窓会（歯ってん会）総会を開催しました。総会後の学術講演会には福岡歯科大学本田武司学長をお招きし「歯科の将来展望と口腔医学」の演題で講演して頂きました。

講演内容は福岡歯科大学の現状、国家

試験の結果、そして「口腔医学の創設・育成」がテーマでした。

「現在の歯学、歯科医療は単に歯牙およびその周囲組織を対象とするだけでなく、顎骨、顎関節、口唇、口蓋などの疾患、舌を含む口腔組織の腫瘍、口腔感染症など、広く口腔領域の疾患を対象としている。また、全身疾患との関連性（全身疾患における口腔病変、歯周病と心筋梗塞の因果関係）が重視されている。高齢社会を迎え、医学を学んだ口腔疾患専門医の立場から生活習慣病の知識を充分に持って治療に当たる必要がある。これらの医歯学の進歩、社会医療環境の変化を考えると、「歯学」から「口腔医学」に名称変更することが、口腔医学教育・口腔医療に対する社会の理解、医師・歯科医師・看護師・歯科衛生士などの医療人の意識向上を図る

上で、適切と思われる。」と今後「歯科」が進むべき道を熱く述べられた講演でした。

近年、診療報酬にも現れるように、医師・歯科医師の格差は年々広がり、歯科界は暗いトンネルに入り込み出口を見つけられない状態です。今後の歯科の発展に大きな期待を持った講演でした。

田中 靖彦（12期）



講演を熱心に聴かれる長崎県同窓会の皆さん

## ■ 同窓会通信 「同窓会会員の先生方、お元気ですか？」

この文章を読んでいるということは、元気だということですね？

福岡歯科大学同窓会福岡県北支部では、5年に一度、福岡県北支部会員名簿を改正しています。5年前の2003年版の名簿を眺めながら、色々事情はあるにせよ、2008年版の名簿からお名前を削除しなければならない先生方が何人かいらっしゃることは、非常に残念に思う次第であります。

第であります。

5年先には、今、記載されている先生方のお名前が一人も削除されることなく、また、多くの新入会員の先生方のお名前が増えていることを願っています。

同窓会本部から時々、同窓会会員の先生あるいはご家族の方の訃報通知が送られてきます。私事ですが、今年2月28日に救急車で運ばれま

した。幸いに現在は元気しておりますが、つくづく健康が一番だと感じております。もうしばらくは訃報通知を受け取る側でいたいと思っております。どうか皆様、御身体御自愛下さいませうよう、心からお祈り致しております。

同窓会副会長  
佐伯 和道（4期）

## 卒業生トーク

### 「時の流れの中で」 崎山 長司（7期）



近影（Let's ボウリング）

早、卒後23年が経ち、来年50才を迎えようとしています。昭和60年に卒業し、5年半の勤務医（60～61年は1期井上康規先生のもとで勤務）の後、地元宮崎市に開業しました。18年目を迎え、日頃の診療の他に、同窓会や歯科医師会活動をしています。

充分な能力があるとは思えない私を、周りの先生方に助けていただき同窓会宮崎支部専務理事や県歯科医師会医療管理委員長をしたり、大学時代に在籍していた弓道部のOB会（84人）の副会長もしています。

スポーツで日頃のストレスを発散すべく、ゴルフ（月2回）やボウリング（週2回）で汗をかいています。ボウリングは9年前（40才）から始め、毎年九地連での大会を目標に練習していますが、なかなか上手くなれず、かえってストレスが溜まります（笑）。

また、最近、今年3月に定年退職された黒水健治先生（宮崎出身）退職祝賀会に参加させていただき、黒水先生との昔話や学生さんとのふれあいも楽しいものがありました。

卒業後3人の大事な同級生（古屋和毅君、藤井東次郎君、加来宏馬君）を突然の病で亡くしたことは本当に残念です。将来に向かって活躍していた3人だけに悲しい出来事でした。

来年2月に弓道部OB会発足30周年記念祝賀会を開催すべく準備を進めています。1期生から新卒30期生まで全ての卒期が揃っているOB会は、他には少ないと思います。祝賀会が盛大になるよう頑張りますので、OB会の先生方、よろしくお祈りします。

最後になりましたが、卒業生をはじめ、皆様方のご多幸をお祈りしています。



昭和56年の九州インカレ、左上が筆者

あっという間に!! 23年



こんにちは、7期卒業の橋本です。昭和60年に卒業後、故郷である大阪に帰り、貝塚市の高松歯科医院に勤務医として修行の後、平成元年に地元の東大阪にて開業いたしました。大阪と言いましても私の診療所は東大阪市の郊外、生駒山の麓の住宅地にあり比較的のんびりしたところです。交通は便利でミナミの繁華街まで、タクシーにて15分ぐらい(阪神高速利用)、地下鉄でも20分でいけるため、誘惑に屈しやすいところです。

おりしもバブルのはじける寸前の時期、地価は高騰、テナントも引く手あまたの売り手市場で、歯科医院の開業に適した物件は少ない中、いろいろ物色した結果、母校の中学校の傍で、商店街の2Fでテナント開業しました。最初は露出度も少なく、知り合いの患者だけでしたが、平成3年より歯科矯正、平成7年よりインプラント、平成8年より予防歯科、最近ではデンタルSPAと順次診療スタイルにバリエーションをもたせ、いろいろな人たちの助けもあり、平成16年に現在の場所(旧診療所のお向かい)に新築移転して、ワイワイにぎやかにやっています。

髪の毛も薄くなり、体型もメタボとともにかっこいいとはいえない年齢になってきました。しかし、週2回のジム通いと話題のシェイプアップパンツを愛用し、何とか現状維持をしています。心の中は絶えず少年の気分と新しいモノにも積極的にチャレンジして、いつまでもかっこよくありたいと思いつつも、ゴルフと釣りにコンパとあいも変わらずですが、元気に人生をエンジョイしている今日この頃です。

最後になりましたが、7期生の皆さん、今度は卒後25周年で元気な姿で再会しましょう。

橋本歯科医院(東大阪市中石切町)

橋本 洋幸(7期) = 文

写真上=歯科医院入口  
写真下=スタッフと一緒に(前列に筆者)



大学そして開業



平成4年に卒業してから16年が経ちました。14期生の皆さんお変わりありませんか?私はこの16年でかなり外見が変わったらしく、久しぶりに街中で会った同級生や先輩には気付かれないこともしばしばあります。

私は卒業後、福岡歯科大学矯正学講座(現 成長発達歯科学講座矯正歯科学分野)に入局し、大学院、助手、講師などを経て、昨年5月に開業致しました。

大学在職中は学生の講義、国内外での学会発表や論文の投稿、矯正歯科認定医・指導医の取得、また矯正認定医の審査委員や論文査読委員など、おそらく大学にいない経験することがなかったであろう非常に多くのことを学ぶ機会を与えていただきました。

退職後は大学の先輩でありました能勢達郎先生(11期・のせ歯科医院)のもとで一般歯科の指導を受け、いざ開業しようと思いついたとき、矯正歯科専門か一般・矯正での開業か幾度となく悩みました。そのような毎日の診療の中、欠損症例の補綴単独治療に限界を感じていたことや、大学在職中に口腔外科や補綴科、インプラント科など他科とのチームアプローチを行っていたこともあり、もっと矯正を歯科治療に取り入れれば、治療の選択肢が増えるとともに、審美的、機能的な面で患者さんにより良い咬合を提供できるのではないかと考え、矯正医こそ一般歯科診療に参加すべきではないかとの思いから一般・矯正での開業を決意致しました。

最近では、知り合いの先生方が、矯正患者さんの治療相談に見えたり、開業を知った先輩や同級生からの紹介など、周囲に助けられながら何とか頑張っています。

最後になりますが、在職中ご指導頂きました、矯正歯科学分野 石川博之教授、伊東隆三前助教授に感謝申し上げますとともに、開業に際しご助言いただきました多くの先生方にこの場を借りて感謝申し上げます。

あらかわ歯科・矯正歯科クリニック(福岡市東区舞松原)

荒川 周幸(14期) = 文

写真上=診療室  
写真下=17期の高倉弘美先生(写真左)と筆者、スタッフ



# 保護者からのメッセージ FROM PARENTS



難波 亮二 = 文

## 「地域保健」

時の流れは早いもので、私が福岡歯科大学を卒業して23年経ちました。昨年娘が母校にお世話になるようになり、あらためて学校の周りを見渡すと道路をはじめ、付近の激変に驚かされます。

学生時代はバレーボール部に入り、ただひたすら練習の毎日でしたが、この頃に培った人間関係、先輩、後輩に対する配慮や目的意識を持った行動など、現在自身の礎になっているのではないかと思います。

開業して6年目、県歯科医師会の「公衆衛生委員会」委員となり、歯科保健活動を精力的にやってきました。そして現在、「地域保健委員会」と名称を改め、その担当理事として未だに在籍しているのは、いつも「地域保健」に日常の歯科医療とは何か別の違った魅力を感じているからだと思います。

最近はこの「地域保健」という用語が「公衆衛

生」という言葉に代わってよく使われるようになってきました。

これは、行政機構、管理と教育および専門家と住民という三つの場面で、中央集権的な画一性を重んじた疾病管理中心の「公衆衛生」によって「健康を守る」という考え方から、地域の特色を重視した住民参加の健康教育によって「健康づくり」を推進していこうという「地域保健」への流れを意識したものといえます。

普遍的であるのは、私たちの傍にいる「地域」の住民である患者さんです。その患者さんたちの「健康づくり」を支援していく中で歯科医師による「地域保健」は多大に関与していると考えます。

歯科医師となっていくこれからの学生さんは、この「地域保健」をいつも意識しながら、研鑽していられることを願っています。



有田 晴吾 = 文

## 「根拠なき自信」

私は文系の大学、社会人を経て福岡歯科大学に進学し、学生ながら卒業時には二兄の父親になっていました。当時3歳の長男と1歳の次男は私の卒業アルバムと一緒に写っています。その長男が歯科大生になり、母校で学んでいることは感慨深いものがあり、大学関係の皆様には深く感謝しております。

経歴が多少変わっている分、不安もありましたが、家族の笑顔と根拠なき自信が私を支えてくれたようです。他人を思い通りにできないが、自分は思い通りにできる。自分が思った通りになる。というより、自分が思った通りにしかならない。そう言う、自分は思い通りになっていない、と言う人が必ずいます。彼等は思い通りにならないと思っているから、思い通りになっていない。

人の能力に大差はない。プラスのイメージを脳に強く与えるか、マイナスのイメージを与えるか、その違いの方が大きい。強い意志を持ち、真剣に取り組んでいれば、自分ができるかどうか、その根拠を探す必要はない。自分がやるんだから出来る。自分がそう思うから出来る。それで十分でしょう。根拠のない自信。本来、自分を信じることに根拠なんていらないでしょう。根拠のない自信が、プラスのイメージを行動に変えてくれます。プラスのイメージを強く持てば、行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば未来が変わる。未来が変われば人生が変わる。

思い通りの自分にウキウキしてください。みなさんの人生にワクワクしてください。みなさんの活躍を心から楽しみにしています。

## 福岡歯科大学父兄後援会 支部懇談会開催日程

平成20年度の福岡歯科大学父兄後援会支部懇談会が下記日程のとおり全国17会場で開催されます。各支部の総会のほか、大学からの近況報告、父兄との個別面談や意見交換などが行われます。詳細については各支部へお問合せください。

### 父兄後援会支部懇談会日程

| 支部名          | 開催日      |
|--------------|----------|
| 佐賀県          | 7月26日(土) |
| 熊本県          | 7月26日(土) |
| 福岡県東部        | 7月27日(日) |
| 宮崎県          | 7月27日(日) |
| 中部・東海・関東・東日本 | 8月2日(土)  |
| 福岡県南部        | 8月3日(日)  |
| 鹿児島県         | 8月3日(日)  |
| 大分県          | 8月3日(日)  |
| 福岡県中央        | 8月9日(土)  |
| 北九州          | 8月9日(土)  |
| 沖縄県          | 8月9日(土)  |
| 福岡市          | 8月10日(日) |
| 長崎県          | 8月10日(日) |
| 四国           | 8月23日(土) |
| 近畿           | 8月23日(土) |
| 山口県          | 8月24日(日) |
| 広島県・山陰・岡山県   | 8月24日(日) |

## 大学6学年激励会

5月21日、本館1階学生食堂において、田中理事長、青野常務理事、本田学長、北村学生部長、中父兄後援会長臨席の下、来春国家試験を受験する6学年の激励会が開催されました。各先生方から受験日までの心構え、勉強方法や健康のアドバイスと励ましの言葉が贈られました。6学年を代表して橋本大悟君はお礼の言葉の中で、全員合格を目指し、頑張りますと決意を力強く述べました。



励ましの言葉を述べる中四良父兄後援会長

## 短大歯科衛生学科 3学年激励会

6月4日、短大1階コミュニティホールにおいて、歯科衛生学科3学年激励会が行われました。それに先立ちホームヘルパー2級修了証授与が行われ、94人に修了証が授与されました。激励会では、田中理事長、青野常務理事、栢学長や升井学科長から歯科衛生士試験合格に向けて、激励の言葉が贈られました。3学年を代表して、塚本葉子さんが試験の決意とお礼の言葉を述べました。



学生へ激励の言葉を述べる田中理事長

# 平成21年度入学試験日程

| 福岡歯科大学 |   |                    |                     |                    | 福岡歯科大学大学院 歯学研究科     |                     |
|--------|---|--------------------|---------------------|--------------------|---------------------|---------------------|
| 区分     | 推薦入試  | 一般入試A日程            | センター試験利用入試          | 一般入試B日程            | 一次募集                | 二次募集                |
| 募集人員   | 約15名  | 約46名               | 約10名                | 約10名               | 18名                 |                     |
| 出願受付期間 | H20.11.4(火)～11.13(木)  | H21.1.5(月)～1.29(木) | H21.1.19(月)～2.12(木) | H21.2.10(火)～3.5(木) | H20.7.28(月)～8.15(金) | H21.1.26(月)～2.13(金) |
| 試験日    | 11月15日(土)   | 2月1日(日)            | 2月14日(土)            | 3月10日(火)           | 8月21日(木)            | 2月19日(木)            |
| 合格発表日  | 11月20日(木)   | 2月5日(木)            | 2月18日(水)            | 3月12日(木)           | 9月4日(木)             | 3月5日(木)             |
| 問合せ先   | 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 学務課入試係 TEL.092-801-1885(直通) FAX.092-801-0427<br>●ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/col">http://www.fdcnet.ac.jp/col</a> ●携帯電話用ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/colhp">http://www.fdcnet.ac.jp/colhp</a><br>E-mail:gakumu@college.fdcnet.ac.jp |                    |                     |                    |                     |                     |

## 【福岡歯科大学AO (Admission Office方式) 入学試験】

本学のAO入学試験制度は、歯科医学を学び、歯科医師を目指す意志が明確で、次代の歯科医学をリードできる、若く、有能な人材を広く全国から募集する制度です。また、AO入学試験合格者のうち、入学試験成績上位3名の者に対して、入学初年度から卒業までの6年間学術奨励金を支給します。(但し、2年次以降は継続条件有)

| 募集人員 | 出願受付期間                      | 試験日                         | 合格発表日                       |
|------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| 約15名 | H20年8月11日(月)<br>H20年9月5日(金) | 1次:9月13日(土)<br>2次:10月18日(土) | 1次:10月3日(金)<br>2次:10月23日(木) |

※詳細は福岡歯科大学学務課入試係(TEL.092-801-1885)までお問い合わせください。

| 福岡医療短期大学・歯科衛生学科 |   |                     |                    |                    |                   |                     |
|-----------------|---|---------------------|--------------------|--------------------|-------------------|---------------------|
| 区分              | 推薦入試(指定校)   | 推薦入試(公募)            | 一般入試A日程            | 一般入試B日程            | 一般入試C日程           | AO入試                |
| 募集人員            | 約10名  | 約10名                | 約15名               | 約5名                | 若干名               | 約40名                |
| 出願受付期間          | H20.11.1(土)～11.6(木)   | H20.11.1(土)～11.6(木) | H21.1.5(月)～1.29(木) | H21.2.2(月)～2.18(水) | H21.3.2(月)～3.9(月) | 詳細は入試係までお問い合わせください。 |
| 試験日             | 11月8日(土)  | 11月8日(土)            | 2月1日(日)            | 2月20日(金)           | 3月12日(木)          |                     |
| 合格発表日           | 11月14日(金)   | 11月14日(金)           | 2月6日(金)            | 2月27日(金)           | 3月16日(月)          |                     |
| 問合せ先            | 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 歯科衛生学科入試係 TEL.092-801-0439(直通) FAX.092-801-4473<br>●ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/Hyg">http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/Hyg</a> ●携帯電話用ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp">http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp</a><br>E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp |                     |                    |                    |                   |                     |

| 福岡医療短期大学・保健福祉学科 |   |                     |                      |                    |                    |                   |                     |                     |
|-----------------|---|---------------------|----------------------|--------------------|--------------------|-------------------|---------------------|---------------------|
| 区分              | 推薦入試(指定校)   | 推薦入試(I)(公募・社会人)     | 推薦入試(II)(公募・社会人)     | 一般入試A日程            | 一般入試B日程            | 一般入試C日程           | 一般入試D日程             | AO入試                |
| 募集人員            | 約10名  | 約5名                 | 約5名                  | 約5名                | 若干名                | 若干名               | 若干名                 | 約15名                |
| 出願受付期間          | H20.11.1(土)～11.6(木)   | H20.11.1(土)～11.6(木) | H20.12.1(月)～12.11(木) | H21.1.5(月)～1.29(木) | H21.2.2(月)～2.18(水) | H21.3.2(月)～3.9(月) | H21.3.16(月)～3.23(月) | 詳細は入試係までお問い合わせください。 |
| 試験日             | 11月8日(土)  | 11月8日(土)            | 12月13日(土)            | 2月1日(日)            | 2月20日(金)           | 3月12日(木)          | 3月25日(水)            |                     |
| 合格発表日           | 11月14日(金)   | 11月14日(金)           | 12月18日(木)            | 2月6日(金)            | 2月27日(金)           | 3月16日(月)          | 3月27日(金)            |                     |
| 問合せ先            | 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 保健福祉学科入試係 TEL.092-801-0923(直通) FAX.092-801-4473<br>●ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/Wel">http://www.fdcnet.ac.jp/jcol/Wel</a> ●携帯電話用ホームページURL <a href="http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp">http://www.fdcnet.ac.jp/jcolhp</a><br>E-mail:gakumuj@college.fdcnet.ac.jp |                     |                      |                    |                    |                   |                     |                     |

※保健福祉学科は、平成21年度入試から入学定員(募集人員)を変更しました。

## オープンキャンパス

入学希望者をはじめ、ご家族や高校・予備校の先生方を対象に福岡歯科大学、福岡医療短期大学の「オープンキャンパス」が右記の日程で行われます。  
お誘い合わせの上、お気軽にご参加下さい。  
(問い合わせは上記各入試係まで)

| 開催校      | 実施日  |
|----------|--|
| 福岡歯科大学   | 7月26日(土)・8月30日(土)  |
| 福岡医療短期大学 | 第3回 平成20年7月27日(日)<br>第4回 " 8月 8日(金)<br>第5回 " 8月23日(土)<br>第6回 " 9月20日(土)<br>第7回 " 10月25日(土) |

AO入試の説明会も行います。  
(当日、エントリーカードをお渡しします。)



大学:模擬講義



大学:指型作製



短大歯科衛生学科:老人介護福祉施設(歯科治療室)見学



短大保健福祉学科:介護実習室見学